

# 9月定例会の概要

会期 9月10日から9月27日までの18日間

## 会期中の主な動き

### 特別委員会の設置

●9月27日…決算特別委員会を設置し、委員を選任

### 特別委員会の開催

●9月19日…人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

●9月27日…決算特別委員会

## 一般質問議員 16人

### 9月17日(火)

鈴木 太雄  
多田 純一  
高田 由一  
中西 徹

### 9月18日(水)

秋月 史成  
片桐 章浩  
岩田 弘彦  
林 隆一

### 9月19日(木)

川畑 哲哉  
藤本 眞利子  
玉木 久登  
鈴木 徳久

### 9月20日(金)

中西 峰雄  
浦口 高典  
楠本 文郎  
山下 直也

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和元年度和歌山県一般会計補正予算	
条例案件( // )	21件	職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件( // )	2件	平成30年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件( // )	8件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	同意
その他案件( // )	8件	令和元年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書・決議	4件	統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議	可決
		国土強靱化及び地方創生に資する社会資本整備の推進を求める意見書	
		高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	否決
		水産業の体質強化を求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約)

### ワーケーションへの取組

**問** テレワークに取り組むIT企業が田辺・白浜地域に進出しているが、本県としてのワーケーションへの取組はどうか。

**答** 県は、平成29年度から全国の自治体に先駆けてワーケーションを提唱し、東京都内でフォーラムを開催するなど、首都圏の企業等に働きかけてきました。これにより現在では多くの企業がワーケーションを採用し始めました。県庁でもワーケーション制度を設けていますが、働き方改革は、労働・残業時間の縮減だけでは不十分で、ワーケーションを通じて革新的な仕事のあり方を見つけてもらうことが一つの解となります。本県から全国に向け、そういう可能性を示していきます。

**ワーケーション**…ワーク(働く)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、日常と違った環境で休暇を楽しみながら仕事を行うこと

### 統合型リゾート(IR)

**問** 横浜市が誘致を正式に発表したことで競争が激しくなったが、知事のIR誘致に向けた意気込みはどうか。

**答** 本県の候補地である和歌山マリーナシティは、全域造成済みでインフラも整備

され、関空に至近で関西の主要観光地へのアクセスもよいなど、非常に優位性があるとの自信を持っていますが、それが過信にならないよう、地域振興に大きく貢献し、国の観光立国政策に資する優れた区域整備計画を作成して、正々堂々と競争していきます。

### クルーズ船寄港への取組

**問** 貨物港などとして役割を果たしてきた和歌山下津港について、客船ターミナル整備など今後の港湾計画はどうか。

**答** 昨今の社会経済情勢や船舶の大型化、クルーズ船の寄港など、和歌山下津港を取り巻く環境は大きく変化していることから港湾計画の見直しが必要であると考えます。周辺環境の調査や船舶の航行安全検討などを行い、その結果を踏まえ、旅客船ターミナルの設置が可能となるような配置も盛り込んだ港湾計画の改訂を行っていきます。

### 田辺市上秋津での斜面崩壊

**問** 田辺市上秋津で大規模な斜面崩壊が発生し、県道田辺龍神線が通行止めとなっているが、この道の通行はできないか。

**答** 紀伊半島大水害における国道311号滝尻地内の場合、災害後、新たな土石流が直ちに道路に達する可能性

が少ないと判断し、土石流感知センサーによる監視と雨量等の通行止め基準を設けたうえで、一時的に通行を可能としました。上秋津地内では、斜面が再度崩壊すると、道路に大きな岩が直ちに達するおそれがあり現道での安全な通行の確保は困難であると判断しました。右会津川を渡る仮設道路を設置し、安全な通行の確保に取り組んでいきます。

### 健康長寿日本一わかやまの実現

**問** 健康づくり運動ポイント事業の進捗状況と8万人登録の達成時期についてどうか。

**答** 登録者数は9月2日現在で6603人と目標にはまだまだ遠い状況のため、毎日のウォーキングで貯まったポイントを、日常生活で活用できる特典に引き替えられるような仕組みづくりなど、登録への意欲を促すインセンティブの導入を検討しています。今後、市町村や民間事業者などとともに、さらなる気運の醸成を図りながら、目標の登録者数を達成できるよう、誠心誠意取り組みんでいきます。



**健康づくり運動ポイント事業**…毎日のウォーキングや自治会活動などをポイント化し、順位を競い合うという、楽しみながら運動習慣の定着を図る取組